

第 14 回 各務原市学校建替基本方針策定委員会 議事録

日 時 令和 6 年 11 月 20 日 (水) 9 時 00 分～11 時 00 分
 場 所 産業文化センター 8 階 第 2 会議室
 出席委員 鈴木賢一委員長、服部吉彦副委員長、福島茂委員、奥村美樹恵委員、
 佐藤幹彦委員、篠田勲委員、熊崎健二委員、阿部雄介委員、杉山幹治委員、
 尾関加奈子委員

議 題 議題 1 各務原市学校建替基本方針 (案)

議事録

1. 開会宣言
2. 議題

議題 1 各務原市学校建替基本方針 (案)

委員長	<p>本委員会での審議も最終段階に入ってきている。</p> <p>パブリックコメントで市民の皆さんに見ていただくことになる。最終チェックとして皆さん確認をお願いしたい。</p> <p>本日は委員全員出席のため、委員会として成立している。</p> <p>事務局より各務原市学校建替基本方針(案)の資料説明をお願いします。</p>
事務局	(資料説明)
委員長	<p>気になった点、感想も含めてお願いしたい。</p>
委員	<p>全体的によくまとまってきたという印象である。</p> <p>少し気になる点は、現在、盛沢山のプランになっているが、空間的なシミュレーションは行っていない。将来的な児童生徒数の減少により、空間的にも納まると思うが、限られた予算制約と空間制約の中で何を優先するのかを決定することになる。そういった内容を記載することが必要ではないか。</p> <p>5-8 頁 (3) 事業実施に向けた課題の部分で、計画・設計段階では、建替えか、大規模改修にするかの意思決定や事業手法の検討が重要となる。また、空間的な制約、予算制約の中で何を優先するか。学校が大切にしてきた歴史やコミュニティの関係、景観計画にもかかわってくるようなこともある可能性がある。そういった内容が計画設計段階で重要となる。</p> <p>プールや給食に関しては、各学校単位の話になる前段階での整理が重要だと思う。計画設計段階の検討課題として記載が必要である。</p> <p>4-24 頁の安全性の部分には、ここに書かれている内容は防災対策の内容になるので、小見出しを防災対策や防災上の安全性などに変更してはどうか。また、背景部分がないため追加した方がよい。特に防災の点では、土砂災害</p>

	<p>警戒区域内の学校や耐震補強の実施状況などは重要と思うので背景の方に組み入れた方がいいと思う。</p> <p>4-32 頁の環境配慮・エコスクールの基本方針の部分に「地球環境にやさしい」という言葉を追加した方がよい。「地球環境にやさしい」は5つの目標の1つである。目標に対応しているようにした方がよい。</p> <p>4-14 頁の生活（を支える）空間の基本方針の中に、「医療的ケアの実施に対応できるスペースを検討する」と記載があるが、これは特別支援学級のクラスの中に医療的ケアのスペースを設けるということか。</p>
事務局	<p>現在整備中の特別支援学校では、看護師が配置される別部屋を確保している。医療的ケアが必要なお子さんは、通学開始の際に特別支援学校か通常の小・中学校かを希望を聞く形をとっている。必要な医療ケアの内容もお子さんによって変わってくる。医療的ケアの実施に対応できるスペースをどこに設置するかは明確にできないと思っている。何かしら必要なスペースが必要という意味で記載している。</p>
委員	<p>4-4 頁の普通教室の基本方針の部分で、子ども達に配慮したロッカースペースとあるが、4-3 頁でロッカーは教室の外に配置する絵となっている。ロッカーは教室の中か外かを明確にしておいた方がよいと思った。そういう意味では、追加でオープンスペースに配置する旨も追加した方がよい。</p>
事務局	<p>普通教室等の「等」の部分に周辺も含める意味合いがある。</p> <p>学校によって管理状況も変わるので今の段階ではどちらと断言ができないと思っている。</p>
委員	<p>この基本方針を読む人に伝わらない可能性もあるので、普通教室等の中にはオープンスペースを含む場合があるといった注記を入れるとよい。</p> <p>4-7 頁のアンケートの項目で、教職員の執務・収納スペースの不足の回答では59.0%の教職員が不足していると回答している。収納スペースの確保については記載した方がよいと思う。また、ここでいう収納スペースは、具体的にどこの収納スペースのことをいっているのか。</p>
事務局	<p>職員室のことで認識している。職員室の中に収納スペースがないと聞いている。実際どうか。</p>
委員	<p>職員室が全く足りていない。教員の他にも様々なスタッフの方がいる。そういった方々のファイルなどの収納スペースも足りていない。</p>
委員	<p>教室ではなく職員室にあればいいのか。</p>
委員	<p>職員室にあればよいと思う。</p>
委員	<p>何か事務局の方でコメントがあればお願いしたい。</p>
事務局	<p>直前の段階で盛り込めるところは盛り込めればと思っている。場合によっては時期がずれると思うが、必要な部分に関しては追加していく。</p>

委員	空間的シミュレーションという言葉を入れてほしいのではなく、今回の基本方針では、ひとつの理想形を追求しているので、より空間的には広い面積を要する。ただし、様々な制約や今後の児童生徒数の減少を踏まえると、こういった空間の確保が必要だ、といった記載内容でよい。
委員長	現実的には予算や規模など様々な調整が必要になるといった言葉を入れておいた方がよい。
委員	4-14 頁の多様な背景を持つ児童生徒の空間と文言を変更されていることが気になる。 各務原市の小中学校には特別支援学級が整備されており、手厚い対応をしていると思っている。今回の「多様な背景を持つ児童生徒」という書き方だと、その子たちを別の空間で指導しているというような印象になってしまう。そうではなくて、その子たちの状況に応じてみんなが一緒に過ごせる空間をつくるということが願いである。 前回までは、通級指導教室や特別支援学級など場所ごとにまとめた書き方となっていたことから、子どもたちの生活空間の方針と受け止めていたが、今回の内容では、学びが関連してくるような表現になってしまったことによって、「多様な背景を持つ」というこの言葉がどういうことかを考えてしまう。
事務局	タイトルについては事務局の方でも難しいと思っている。 事務局の方でもいい言葉が選びきれていない。 また、前回と今回でのまとめ方に関してのご意見もいただきたい。
委員	私も「多様な背景を持つ児童生徒」という表現には違和感がある。そこで、例えば、「児童生徒の多様な背景を支える空間」とすると 40 人それぞれの多様な背景を支えるという捉え方ができる。
委員	前回とかなり変わっている。 特別支援学級は、学級数としてカウントする学級である。普通教室のところに特別支援学級を入れた方がいい。 通級指導や心の教室は特定の児童生徒を指導援助する空間となるが、特別支援学級は普通学級の中に入れた方がいいと思う
委員長	皆さん違和感があるようである。生活を支えることで思い浮かぶのは、保健室やトイレ、食事の関係になる。 そう考えると以前の「学び」に戻した方がよいと思う。
事務局	タイトルは「児童生徒の多様な背景を支える空間」か。
委員長	今のタイトルでは区別するような印象を受けてしまうので修正をお願いしたい。なお、4-14 の扱いについても事務局で再検討していただきたい。また、児童生徒数は減っているが、特別支援学級は増える傾向にある旨を方針内のどこかに追加した方がよい。
委員	2-1 頁の校舎の築年数で多くの学校で 40 年以上が経過しているという部分

	<p>について、40年としていることが適切かどうか。</p> <p>また、市民の皆さんは自分たちの地域の学校の建て替えがいつ始まるのかが一番気になると思う。2章あたりに5章の建替え事業の進め方が入ると良いのではないか。</p> <p>あと細かいことだが、児童・生徒の「・」削除が統一されていないので修正をお願いしたい。</p>
事務局	<p>築年数に関して、一部整合性が取れていないところがあるので、再確認する。</p> <p>5章は建替に移る時の課題として位置づけている。最初に持ってくると内容が変わってしまう恐れがある。</p> <p>各務原市は80年を目指して、耐震なども行っているということが大前提にある。必ずしも全て建替というわけではなく、適正規模・適正配置等の基本計画で検討し大規模改修や改修もありうる。</p>
委員長	<p>5章の扱いは、市民感覚の視点でも見てもらえると良いと思う。</p> <p>教育現場からは、何か意見はあるか。</p>
委員	<p>先ほどの委員と同じ意見で、特別支援学級のことと配慮が必要な子達の部分は気になった。修正していただければと思う。</p>
委員	<p>基本理念の目標⑤で「地球環境にやさしい学び」や4-32頁の基本方針で木材の積極的な利用と書かれているが、木材の利用に関して、温かみがあるなどの見た目だけではなく、機能面のメリットも記載していいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>書き方を検討する。</p>
委員長	<p>木材は技術革新で耐火面もかなり変わってきているし、CO2の削減にもなってきている。</p>
委員	<p>整備後の維持管理の記載がどこかに必要と思う。</p> <p>維持管理のしやすさは運動場だけでなく、建物も含め維持しやすい内容を入れてはどうか。</p> <p>4-12・13頁の職務空間に関して、教職員の休憩場所の設置をどこかに入れた方がいいと思う。</p> <p>アンケートでも教職員の休憩場所がないという意見が多い。</p>
事務局	<p>更衣室の確保は記載があるので、休憩スペースの確保についてを追記する。</p> <p>実際に通常業務の中で横になるニーズがどの程度あるのかを教えていただきたい。</p>
委員	<p>職員が横になるほどの時は、帰宅してほしいと思う。</p> <p>ほっと一息できるスペースは必要だと思う。談話ルームのようなものがあると良いと思う。そこで先生間とのコミュニケーションも取れる。</p>
委員	<p>視察の際に気が付いたことで、ちょっとした多目的に使えるようなスペース</p>

	があったことを覚えている。ちょっとしたスペースがいっぱいあるといい。
委員長	小学校で女性の教員が増加していることも考慮した方がよい。働く方の休むスペースは必要に思う。
委員	パブリックコメントはどういった方々が見ることになるのか。一般の人には内容が難しいと思う。もう少し言葉をやわらかくした方がよいと思う。
委員	分かりやすい概要版のような資料と基本方針の本編の2本立てで資料を作るのは、見てもらう意味では必要だと思う。
事務局	最終的には概要版を作る。パブリックコメントの段階では本編となる。
委員	はじめにの部分にもう少し追記しても良いのではないかな。
委員長	概要版を作る際にわかりやすい表現にしていいただいても良いかもしれない。
委員	児童生徒数の減少をみると、うちの学校は無くなるかと思われる可能性がある。それに対応する言葉がどこかにあるといいと思った。 これだけの機能が学校に備わることで、従来の教育を中心とした先生たちが運営する学校とは違い、教育機関を中心とした地域の施設という位置づけになっていくような気がする。その施設を先生たちが運営していくというイメージが持てない。そういった運営も先生が行っていくのか。
事務局	地域利用の視点が増えれば、運営自体をどうするのかといった視点も必要になっていくと思う。現時点ではそこまでの考えはない。ただ、学校施設にもエレベーターの設置が必要な時代である。そうなるとメンテナンスの話も出てくると誰が維持管理を担うかなどの検討が必要となる。 新特別支援学校では、今回のラーニングセンターに近い機能があって、図書スペースを住民にも利用してもらうよう検討しており、市で職員を配置する予定である。
委員	この基本方針を見たときに、教員としてはこの非常に多くの機能を教員が管理しなければいけないと思ってしまう。 地域開放の機能部分についての管理運営に関して、必ずしも学校に一任ではないというような文言があってもよいと思う。
委員	4-29 頁の地域開放・地域コミュニティルームには記載が必要だと思う。基本方針の趣旨にも記載があるが、「管理運営の体制等については、学校に過度の負担がかからないよう計画段階から関係者と十分に調整します。」を強調していただきたい。
委員長	学校の先生たちに負担がかかると広がらない。地域の方々が自分で管理できるような仕組みにしておかないといけないと思う。 前半の児童生徒減少の話と小中一貫校の話の趣旨が伝わるかどうか。
事務局	ご指摘の通りだと思う。小中一貫も考えていかなければいけないと思っている。単に予算面で統廃合を進めるのではなく、統合によって子ども達のためになるという教育的な視点での考え方を持っている。適正規模・適正配置の

	基本計画があり、これも定期的に見直しが必要になると思っている。今回の学校建替基本方針は建替の順番や統合等の具体的な内容を定めるものではないので、今後の学校がどうなるのかを計画の中に入れることは難しいと思う。今後の課題の部分に適正規模・適正配置基本計画の見直しをふまえて学校の規模や運営面を行うことが求められる内容を記載している。
委員	適正規模・適正配置等に関する基本計画の見直しの頻度は決まっているのか。
事務局	適正規模・適正配置等に関する基本計画は必要に応じて見直すことになる。適正化を行うべき小規模校が現時点である程度示されている。対応する一つの手法として小規模特任校制度を現在実施している。
委員長	5-8 頁に事業手法の話を少し入れておいた方が良いと思う。 4-23 頁に防災に関することも入れた方が良いと思う。 4-14 頁の生活（を支える）空間の内容は、今回の意見を踏まえ修正していただいた方が良いと思う。
委員	パブリックコメントはどのような形で公開するのか。
事務局	市公式ウェブサイトや広報紙等で発信する。
委員長	本日の議題はすべて終了した。事務局にお返しする。

2. 今後のスケジュール（予定）

次回は、令和7年2月12日（水）13時30分～ 産業文化センター4階第2会議室で実施する。

以上